

株式会社エム・データとドーモ株式会社、 TV メタデータと Domo を連携するコネクタを提供開始

テレビのトレンドデータを活用し、AI による分析・意思決定・業務アクションを加速

株式会社エム・データ（本社：東京都港区、代表取締役社長：薄井 司、以下 エム・データ）と、ドーモ株式会社（本社：東京都千代田区、プレジデント ジャパンカンントリーマネージャー：川崎友和、以下ドーモ）は、エム・データが提供する「TV メタデータ」と Domo を連携するコネクタの提供を開始したことを発表しました。

本コネクタにより、企業はテレビ番組や TV-CM の放送トレンド、番組で紹介された商品や店舗に関する情報などの TV メタデータを Domo へ直接取り込み、企業内のデータと統合し、分析・可視化・AI 活用・業務アクションまでを一気通貫で実現できます。

エム・データは、テレビ番組や TV-CM の放送内容を 24 時間 365 日体制でデータ化し、「いつ・どこで・誰が・何を・どのように紹介したか」を記録した TV メタデータを生成・提供しています。近年では生成 AI との連携による事業の共創や AI エージェントへのデータ連携にも注力しています。

今回の連携により、企業は TV メタデータを、自社の売上・購買・EC・SNS・人流・広告・CRM データなどと統合し、単なる可視化に留まらない「AI を活用した意思決定とアクション」に活用可能になります。

TV データを「見る」から、「動かす」へ

両社は、TV メタデータと Domo.AI、ワークフロー機能を組み合わせることで、分析から現場アクションまでを自動化できます。例えば以下のような活用が可能です。

●日用消費財

新商品の企画立案、マーケティング戦略立案、業界情報・競合社の TV 露出調査

●外食

新メニューやキャンペーンの企画立案、エリアマーケティング、出店計画、業態開発

●小売・流通

テレビ連動型リテールディア、発注最適化（ヒット商品の予兆検知、早期発注、欠品防止、POS 分析）、接客アシスト（来店者問い合わせ対応）・ユニファイドコマース

●メディア・広告・マーケティング・エンタメ

番組企画、ネクストブレーカー発掘やキャスティングの立案、ヒット予測、被写体・ファクトチェック、視聴量推定、考査

●金融

株価の先行指標としてテレビの企業露出や CM 投下状況による株価変動シグナル検知、投資判断サポート(AI アシスタント)、広告投資（CMコスト）推定、業績推定、ネガティブ報道チェック

●自治体・観光/旅行

観光 PR 施策の立案、観光政策（AI 多言語翻訳アバターによる観光ガイド）、インバウンド支援・エリアマーケティング、ツアーや旅行プランの企画立案

●不動産

テレビ（地域トレンド情報）×地価×SNS/人流データ等 による不動産価値シミュレーション、リーシング、業態開発・エリアマーケティング

●その他

営業リスト作成補助（アタックリスト・加盟店開発リスト）、広告宣伝予算ポテンシャル推定、広告効果モニタリング、メディアプラン、アロケーション最適提案、与信・信用格付、企業報道ポジネガチェック

これにより、マーケティング部門だけではなく、各業界における商品企画、営業、店舗運営、経営層まで、全社でデータを活用した迅速な意思決定が可能になります。

Domo.AI による AI 活用を加速

Domo の AI サービスレイヤー「Domo.AI」を活用することで、TV メタデータに対する自然言語での質問や、AI による要約・異常検知・インサイト生成も可能になります。

例えば、

「今週テレビ露出が急増した商品は？」

「売上との相関が高い番組は？」

「次にヒットしそうなカテゴリは？」

といった質問を自然言語で行い、AI が即座に分析結果を提示します。

さらに、Domo の AI エージェントやワークフロー機能を活用することで、分析結果をもとに業務プロセスを自動化し、“データを見る”だけで終わらない、“データを動かす”世界を実現します。

今後の展望

AI 時代に重要なのは、「AI モデル」だけではありません。AI が正しく判断し、業務を動かすためのデータです。

エム・データとドーモは今後、TV メタデータを活用した業界特化型 AI エージェントの展開を予定しています。

小売、消費財、広告、外食、エンターテインメント、不動産、自治体、金融などの領域において、

- ・ AI によるトレンド検知
- ・ 次を取るべきアクションの提案
- ・ 業務ワークフローの自動化
- ・ 意思決定支援

までを実現し、「データを見る」から「AI が動かす」世界への進化を支援していきます。

株式会社エム・データ コメント

「TV メタデータは、テレビという巨大な生活者接点から生まれるトレンドデータです。今回 Domo と連携することで、企業が保有する様々なデータと統合し、AI を活用した新たな意思決定やビジネスアクションにつながることを期待しています。」

ドーモ株式会社 コメント

「AI 時代において重要なのは、AI モデルそのものではなく、“AI を動かすデータ”です。今回のエム・データ社との連携により、テレビという生活者インサイトの宝庫を、企業のアクションにつなげることが可能になります。ドーモは今後も、データ・AI・業務をつなぐプラットフォームとして、企業の変革を支援していきます。」

■ 株式会社エム・データが提供する「TV メタデータ」とは？

株式会社エム・データでは、TV 番組や TV-CM の放送内容（実績）をテキスト化（データベース化）した「TV メタデータ」を生成しています。データ生成センターでは常時 40 名前後の専属スタッフが 24 時間 365 日「いつ」「どこで」「何が」「どのように」「何秒間」放送されたかを、オリジナルのシステムを使用しデータベース化しています。

TV メタデータは、主に「①番組データ（番組放送内容）」「②TV-CM データ（広告出稿内容）」「③アイテムデータ（番組で紹介された商品情報）」「④スポットデータ（番組で紹介された店・宿・観光地等の情報）」「⑤各種マスタ・辞書データ」などで構成され、ローデータ提供サービスの他に、ランキングコンテンツや調査・集計・分析のレポートサービス、分析結果を基にしたコンサルティングサービスなどがあります。

■ 株式会社エム・データについて

株式会社エム・データは、テレビ放送（番組および TV-CM）の放送実績を独自にテキスト化したデータベース「TV メタデータ」を生成して、調査・分析・配信を行うデータプロバイダです。民放キー局（在京 5 局）等と資本提携し、業界基準の TV メタデータを構築しており、主なサービスには、「TV メタデータ」を提供する「①データ配信サービス」、お客様のご要望に応じて調査・分析を行う「②放送実績調査サービス」、放送された話題を露出・報道量で集計しランキング形式で提供する「③ランキングサービス」、ビッグデータ解析ツール「④TV Rank」の提供を通じ、企業のマーケティング支援、コンサルティングをしています。

「データで世の中やビジネスを面白く！」をパーパス（存在意義）として、様々な業界での課題解決にデータで貢献します。

■ Domo について

ドモ株式会社は、AI を搭載した全社データ活用プラットフォーム「Domo」を企業向けに提供しています。Domo は、データの統合・可視化・自動化・共有化、そして埋め込みアプリケーション作成など、データ活用に必要な機能をワンストップで提供するプラットフォームです。

企業における既存もしくは新規データ環境に柔軟に対応し、散在するデータを一元管理することで、企業のデータ価値を最大限に引き出し、ビジネス成果を最大化します。Domo に搭載している AI サービス Domo.AI は、専門知識がなくても誰もがスピーディかつ的確に複雑なデータを読み解けるようにサポートし、すべての従業員のデータ活用を効率化して、迅速な意思決定を支援します。

Domo は、データに基づくアクションを必要としている、あらゆる事業規模・業界で活用されています。

Domo は Domo, Inc.の登録商標です。

本文中に記載されている会社名、製品名等は、各社の登録商標または商標です。

■ 会社概要

株式会社エム・データ（M Data CO.,LTD）

住所 : 東京都港区新橋 1-12-9 新橋プレイス 6 階 ビジネスエアポート新橋内
U R L : <https://mdata.tv>
設立 : 2006 年 1 月 23 日
代表者 : 代表取締役会長 関根 俊哉
代表取締役社長 薄井 司

■ 本リリースに関するお問い合わせ

株式会社エム・データ : <https://mdata.tv/contact/>